

第13回しでんほーる連続講座

こどもの国線の近現代



1967（昭和42）年に開通した「こどもの国線」は横浜市の北部、長津田とこどもの国を結ぶ短い単線の鉄道でした。休日は満員になる電車も、平日の昼間はガラガラの1両が緑野を走っていました。それから50年、現在は横浜高速鉄道に移管されて、りっぱな通勤路線になっています。

ここでは、この間の変貌をとげた路線と車両、沿線風景の変化を観察します。また併せて、その50年よりも前、こどもの国線の有史以前である軍用線時代の姿も回顧してみたいと思います。

恩田川橋梁を行く単行のデハ3405号（昭和45年10月 撮影：関田 克孝）

講座日時

1月20日(土) 13時30分～15時

場 所：横浜市電保存館「しでんほーる」

講 師：関田 克孝さん

（鉄道・都市の歴史、乗り物絵本・TOYの研究者）

定 員：先着50人

電話にて事前受付・当日参加可

参加費：入館料のみ



子どもの国線開通の車内吊りのポスター（所蔵：関田 克孝）

横浜市電保存館

〒235-0012 横浜市磯子区滝頭3-1-53 ☎045-754-8505

●開館時間 9:30～17:00（入館は16:30まで）

●料金

大人（高校生以上）300円 3歳～中学生100円 65歳以上200円

●アクセス

地下鉄吉野町駅 から 113・156系統「滝頭」下車徒歩3分

地下鉄阪東橋駅 から 68・102系統「滝頭」下車徒歩3分

JR根岸駅 から 21・78・133系統「市電保存館前」下車すぐ

アクセスマップ

